楽しい読書が子どもたちの成長に良い影響を与えることは、さまざまな調査からもわかってきました。

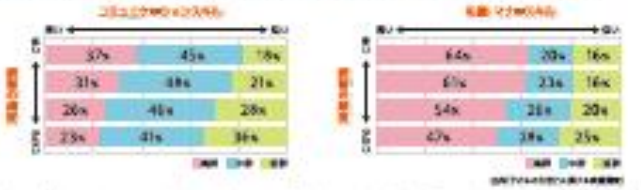
充実した読書活動を経験した子どもたちが大人になり、親となって、本県の読書文化がより豊かになっていくことを期待します。

読書はコミュニケーション能力の基盤となります

子供の頃から、本に親しむことは豊かな人生を切り拓く上でとても大切です。特に絵本や読み聞かせなどは子供たちの情緒を育み、考える力、コミュニケーション能力、社会性などを強います。

子供の頃（就学前から中学時代）に読書活動が多い中学生や高校生ほど、現在も人を思いやる気持ちや社会のルールを守る意識などの社会性が高い傾向にあります。

読書をすることが多い子ほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルの高い傾向にあります。



また、子供と同様に、子供の頃の読書活動が多い大人ほど、未来展望や社会性などの意識・能力が高い傾向にあります。

推し本活、はじめませんか？

【成人部門 最優秀賞】 木村 明子 さん（和歌山市）

ナナウンサーの山根良久さんは、「本の中の人物から様々な人と出会い、相手の気持ちを受け取っていくコミュニケーションができる。これが育っていくことが豊かな『こころの力』であり、その多くは読書によって培われる」とおっしゃいます。また、「読書の楽しみかたは人それぞれ。人生の楽しみも広く深く豊かにしてくれます。」とも教えてくれています。

（平成28年度「読書推進フォーラム」に参加された山根良久さんの言葉から）

子どもたちと読書を結びつけるために、私たち大人にできることは何でしょうか。

まずは大人自身も、読書を楽しむ毎日を工夫してみませんか。

社会教育委員会議からの提案 ～大人の読書10項目～

01 大人も絵本を楽しんでみませんか。
02 すぐに手を伸ばせるところに本を置いてみませんか。
03 生活のすき間時間に本を楽しみませんか。
04 大人が本を読む姿を子どもたちに見せませんか。
05 親子で本をとるれあう時間をつくりませんか。
06 家族で読んだ本について話す時間を楽しみませんか。
07 学校や地域の図書館、本屋さんに立ち寄ってみませんか。
08 読み聞かせや朗読をしてみませんか。
09 読書に関するイベントに参加してみませんか。
10 携帯で読む、電子書籍で読む、読んだことを仲間と語り合うなど、いろいろな読書を楽しんでみませんか。

和歌山県社会教育委員会議では、毎年度の活動を通じて、令和２年３月から、県内の様々な図書館を訪問し、特徴ある取り組みを紹介するためのガイドについて、検討を進めてきました。

このリーフレットには、これまでに訪問した図書館、読書の魅力人への提案等をまとめました。子どもから大人まで幅広く読書を楽しむ、生涯にわたって読書の楽しみを味わうことができる、読書の魅力をもの提案につながることに期待します。

和歌山県教育委員会
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL：073-441-3720

和歌山県社会教育委員会議
委員：[illegible]
協力：[illegible]

読書文化の醸成に向けて

～生涯にわたり読書に親しむために～

和歌山県社会教育委員会議からの提案

読書は、わたしたちの人生に豊かな実りと心の栄養を与えてくれます。

生涯にわたり、子どもと、大人と、そして、まち、どんなつながりをつくっていけばいいのでしょうか。

このリーフレットでは、わたしたち大人がものつながりを考えるため、子どもの成長に合わせたまちとの出会い方をまとめました。

イラスト：[illegible]

和歌山県教育委員会
和歌山県社会教育委員会議

絵本大好き！お膝で隣でお布団で♡

【乳幼児期部門 最優秀賞】 林 まゆみ さん

ぼくのむね ページとはずむ家読時間

【学童期部門 最優秀賞】 一ノ瀬 所大 さん

画面に触れるその指を、ページをめくるこの指に。

【青年期部門 最優秀賞】 真珠 杏莉 さん

【本との出会い ～本で遊ぶ～】

絵本を介した身近な大人とのふれあいの時期 乳児期

【人との出会い ～本を楽しむ～】

大人の読み聞かせを集団で楽しむ時期 幼児～小学校低学年

【自分との出会い ～本と語る～】

自らの意思で本や物語に関わる時期 小学校高学年～高校生

地域

家庭

赤ちゃんに絵本との出会いをつくりましょう

赤ちゃんの好きな絵本は、「食べ物」「乗り物」「動物」。大好きな絵本は、自分に関係ある内容だから、飽きたがるものです。絵本の世界へ一緒に出かけ、楽しく遊びましょう。お父さんやおばあちゃんと絵本で遊ぶことも、大切なふれあいです。

親子が本と出会えるお手伝いをしましょう

こどもとしょかん（宇都宮市）

学校

家読、親子での読書を楽しみましょう

保育所・幼稚園・学校等と地域とが本でつながりましょう

幼児期を迎えると、家族は外の様々な大人と出会い、どんどん世界を広げていきます。学校、そして地域の読み聞かせボランティアの皆さんの温かな、子どもたちは見守られ、豊かな心が育ち、楽しく読書やことばの力を育てていきます。また、成長にあわせて、「家読」で聞く力を育てることも、子どもたちの読書力を高めます。

現在の学校で展開している「ちのくにコミュニティスクール」は、学校と地域がつながって子どもを育てる仕組みです。この仕組みで学校図書館を活用し、子どもとの出会いを増やしましょう。

地域

さまざまな場面で、いろんな読書を楽しみましょう

読書をとおして、仲間と交流しましょう

本のある場所へ、家族や友人と、さあ、出かけましょう

大人が読書の楽しさを語り、本を読んでもらい、子どもたちに見せたいものです。その姿を見た子どもたちは、きっと自分も読みたいと手を伸ばすことができるでしょう。週末活動の場所や、移動や宿泊の活動など、すべての時間の読書も楽しんでみましょう。